

英国の欧州連合離脱問題と日英関係に関する懇談会

開催日：2016年9月28日(水) 場 所：経団連会館
来 賓：アロク・シャーマ 英国外務省 大臣政務官（アジア大洋州担当）
ティム・ヒッチンズ 駐日英国大使

経済広報センターは、9月28日、来日中のアロク・シャーマ英国外務省大臣政務官（アジア大洋州担当）とティム・ヒッチンズ駐日英国大使を招き、英国の欧州連合（EU）離脱問題とその日英関係への影響等について意見交換した。経済界側からは、主要業界の19社3団体から役員等22名が参加した。

シャーマ大臣政務官は、「英政府としても国民投票の結果示されたEU離脱という結果を受けとめ、その実現に向けて取り組んでいく」としたうえで、「英国は今後とも、グローバルな視点を持った開かれた国であり続ける」「日本との間では、経済のみならず、安全保障や平和維持活動などの面においても多角的なパートナーシップを発展させていきたい」旨述べた。

ヒッチンズ大使は、6月の国民投票の後、英国政府の立場を積極的に各方面に説明しているとしたうえで、9月に発表された日本政府のタスクフォース報告書「英国及びEUへの日本からのメッセージ」



英国外務省のシャーマ大臣政務官(右)とヒッチンズ駐日英国大使

については、「日本の懸念、利益、関心等について、民間部門と緊密に連携し、熟考のうえ作成されたものであり、非常に高く評価している」と述べた。

さらに、「今月、杭州のG20ならびにニューヨークの国連総会の場において、メイ首相が安倍首相と二度会っており、英国として日本を重視している証左である」と発言した。

以上